

## 当社でのサーマルリサイクル（エネルギー回収）

弊社では、焼却施設の燃焼炉で発生した高温燃焼ガスは、蒸気ボイラーで、蒸気または温水として回収され、本社事務所棟において、温水として利用されています。

お湯は飲料、手洗い、社員の作業服の選択、お風呂等の生活の一部としてリサイクル利用し、CO<sub>2</sub>の排出量削減に貢献しています。

下記は、回収された熱を利用した場合としない場合の液化石油ガスの使用量と料金、CO<sub>2</sub>の排出量を過去5年分示したものです。

現状の使用量	R2年46期	R1年45期	H30年44期	H29年43期	H28年42期	合計
LPG（単位：m <sup>3</sup> ）	110.8	66.9	126.5	41.1	98.6	444
料金 @560（単位：円）	62,048	37,464	70,840	23,016	55,216	248,584
CO <sub>2</sub> （単位：kg-CO <sub>2</sub> ）	688	415	785	255	612	2,755

※焼却炉が稼働している時は、1ヶ月1m<sup>3</sup>前後の使用料ですが、メンテナンス等で焼却炉が止まると、使用量が増加します。

現状の使用量	R2年46期	R1年45期	H30年44期	H29年43期	H28年42期	合計
LPG（単位：m <sup>3</sup> ）	720	720	720	720	720	3,600
料金 @560（単位：円）	403,200	403,200	403,200	403,200	403,200	2,016,000
CO <sub>2</sub> （単位：kg-CO <sub>2</sub> ）	4,471	4,471	4,471	4,471	4,471	22,355

※1ヶ月間大幅改修工事で焼却炉が停止した時の数字で計算しました。

※LPGの単価は基本料金を含む平均で算出しました。

上記表から、焼却炉からの熱回収により、使用量が88%削減され、5年間でCO<sub>2</sub>の排出量は、19,600 kg-CO<sub>2</sub>削減されています。